



開物成務

郡山市立開成小学校

学校便り No.42

令和元年11月5日

文責：校長 伊藤孝行

市内で被災した学校の現状について。

台風19号による大雨のため、市内の河川が至るところで氾濫し、大きな被害を残しました。富久山清掃センターも被災し、災害ごみの処理も不十分なままです。

現在、市内の3つの小学校では、校舎が被災し授業が行えないため、いくつかの学校に子どもを移動して授業を再開しています。

学校名	移動先
小泉小学校	明健小学校と明健中学校
永盛小学校	1・2年生=緑ヶ丘第一小学校 3・4年生=小原田小学校 5年・支援=安積第三小学校 6年=小原田中学校
赤木小学校	1・2年生=金透小学校 3・4年生=桃見台小学校 5・6年生=郡山第五中学校 特別支援学級=芳山小学校

子どもたちは、自分たちの学校からバスで移動先へ行き、そこで学習を進めていて、慣れない環境下で大変な苦勞をしています。

開成小学校や開成地区は、台風19号の影響は受けませんでした。すぐ近くで困難な中、学習している子どもたちが大勢いることを知って、自分がやらなければならないことを考え、実践してくれることを願っています。

予告なし避難訓練を行いました。

11月1日(金)の業間の時間に「予告なし避難訓練」を行いました。

業間の時間なので、子どもたちは、校庭や中庭、体育館、図書室等様々な場所で過ごしていました。



近くに先生がいない中でも、落ち着いて放送を聞き、安全に注意して避難することができていました。



災害や事件・事故はいつ起こるか分かりません。だからこそ、日頃の訓練が大切になってきます。

緑の少年団活動・パンジー移植。

来年の春にきれいな花を咲かせるのを楽しみに、緑の少年団の子どもたちが正門前にパンジーの花苗を移植しました。



他の特設クラブと同じように、緑の少年団は希望する子どもたちで活動しています。

他の特設クラブに入っている子どもも多いため、活動はどうしても業間の時間や昼休みの時間になってしまいます。それでも多くの子どもたちが参加し、奉仕的な心で活動していることをとても嬉しく思います。